

宇都宮市地域防災計画（修正素案）に関するパブリックコメントについて

1 パブリックコメントの実施状況

- (1) 意見の募集期間 平成26年12月5日（金）～12月26日（金）
- (2) 意見の応募者数 2名 （男性 2人, 女性 人）  
意見数 5件
- (3) 提出方法の内訳

	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	電話	計
人数			2			2

2 意見の処理状況

区分	処 理 区 分	数
A	意見の趣旨等を反映し、計画に盛り込むもの	2
B	意見の趣旨等は、計画案に盛り込み済みと考えるもの	2
C	計画の参考とするもの	
D	計画に盛り込まないもの	
E	その他, 要望・意見等	1
	計	5

意見番号	意見の概要	処理区分	意見に対する市の考え方
1	災害時には、地域での助け合いが重要と考える。	A	現行計画には、市民が平常時から地域の防災活動に積極的に参加することや、災害時の応急活動に協力することなどを記載しているが、意見を踏まえ、より明確に「自分たちの地域は自分たちで守る」という共助の精神について明記する。
2	最近、竜巻やゲリラ豪雨など増えてきている。このような近年の災害の傾向を踏まえた計画にしてほしい。	B	今回の計画の見直しの中で、近年の異常気象を踏まえ、新たに「突風対策」・「雪害対策」を盛り込む。また、土砂災害防止法の改正を踏まえ、土砂災害における体制整備についても盛り込む。

意見 番号	意見の概要	処理区分	意見に対する市の考え方
3	東日本大震災から3年以上過ぎて、みんな防災の意識が薄れていると思う。災害は、いつ起きるかわからないので、家庭での備蓄や避難所の確認など広報する必要があるのではないか。	E	現行計画に、防災意識の高揚について盛り込んでおり、計画に基づき、広報紙などで防災特集を組むなど周知するとともに、平成26年3月には、日頃からの備えや災害時にとるべき行動をまとめた「我が家の防災マニュアル」を全戸に配布している。
4	避難先で二次災害に巻き込まれては避難する意味がない。避難所の安全性を確保することが重要である。	B	避難所については、今回の災害対策基本法の改正により、国から条件が示されたことから、新たに計画に「指定緊急避難場所」、「指定避難所」について盛り込み、この条件に基づく避難所を指定する予定である。
5	災害時は、市が警察や消防と連携して対応にあたることが重要である。日頃から訓練などを実施する必要がある。	A	災害対応力向上のための自衛隊、県、警察、市、消防などで組織する「国・県・市災害対策連絡協議会」を設置し合同訓練等を実施している。 意見を踏まえ、「国・県・市災害対策連絡協議会」を計画に明記する。